

みんなで守ろう農村環境く水土里サークル活動く



インタビューを受ける南脇さん

9月6日、県政ナビ「かごメン」の収録が末吉町の高松地区で行われました。

当日は、レポーターが畦草の草刈りや隧道探検を体験したり、ユニック車の上から「そお星人」のアート田の撮影をしたりと1日ばかりで収録を行いました。

水土里サークル活動に取り組んでいる「高松地域活動隊」代表の南脇敬一郎さんは「今後もこの活動を継続して農村環境を守っていきたい」と話しました。

「そば打ち体験」講習会



そば打ちのポイントを教わる参加者

9月23日、そお生いき健康センターで「そば打ち体験」の講習会が開催されました。

講師は持田初穂さん。(大隅町あけぼの) そば粉の混ぜ方や、生地伸ばし方、切り方などを実演し、参加者へそば打ちのポイントを詳しく説明しました。

参加者は悪戦苦闘しながらも、なんとかそば打ちを完成させ、お土産に持って帰ることができました。お昼には、持田さんの打ったそばを食し、大満足の様子でした。

お菓子の昭栄堂が曾於市に新店舗



固い握手を交わす遠武社長（左）と市長（右）

9月24日、株式会社お菓子の昭栄堂（都城市）と立地協定調印式を行いました。

同社は、今年で114周年を迎える老舗和洋菓子店。末吉町上町に店舗および工場を建設し曾於市から3名を含む合計5名の新規雇用を予定しています。遠武憲明社長は、曾於市のサツマイモやユズを使った新商品の開発販売を行う事で、商品の充実とさらなる事業拡大に意欲を示されています。今回の新設で、地域経済の活性化が期待されます。

宝くじの助成金で音響設備などを整備



宝くじ助成金で整備された音響設備

平成27年度コミュニティ助成事業を活用し、末吉南部地区公民館に音響設備やテントなどを整備しました。

この事業は、宝くじの受託事業収入を財源として実施している助成事業です。地区公民館組織等が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感と自治意識を盛り上げることを目指し、活動に直接必要な設備の整備を支援しています。この備品が、今後の公民館行事に活用され、地域の活性化につながることが期待されます。





4つ子の子牛と柿木さん

子牛せり市に4つ子の子牛

9月28日、曾於中央家畜市場で9月子牛せり市が行われ、柿木幸夫さん（財部町柿木）が育てた4つ子の子牛が競りに出されました。

平成26年12月2日に、母牛ごつなみがメス2頭、オス2頭を出産。それぞれ「いちたか」「にたか」「三隆」「四隆」と名付け、手塩にかけて育てあげました。「生まれたときの大きさは標準の3分の1程度しかありませんでした」と話す柿木さん。「寂しさもあるが今日の日を迎えることができ、なによりです」と話しました。



多くの参加者で賑わいました

城山観光ホテルで「曾於市フェア」を開催

9月16日、城山観光ホテルで市制施行10周年を記念して「曾於市フェア」のイベントが開催されました。

このイベントは、曾於市の安心安全な食材を県内の方々に広く紹介するために城山観光ホテルと共催で行ったものです。

当日は、市内および県内から326名の参加があり、曾於市の肉・野菜・ゆずなどの食材をふんだんに使った洋食ディナーコースが振るまわれました。また、「そお星人」もお披露目され、曾於市のPRに努めました。



講演を行う植木さん

こころの健康づくり講演会

9月26日、財部きらめきセンターでこころの健康づくり講演会が開催され、心理学者の植木理恵さんの講演が行われました。

植木さんの「自分の性格」や「ペルソナ（仮面・キャラクター）」などについてユーモアを交えたわかりやすいお話に、あつという間に時間が過ぎていきました。植木さんは、来場者からの質問や相談に丁寧に答えていました。質問者は「たくさんのペルソナを持って生きて良いと思ったら、心が楽になりました」と話しました。



収穫機に乗り作業を行う高校生

末吉高校生 さつま芋を収穫

9月29日、大隅町月野の畑で4月に植え付けたさつま芋の収穫を、末吉高校生が行いました。

今年度、閉校を迎える同校は、閉校記念に焼酎を製造。昨年は米麴用の稲作を行い、今年は焼酎づくりの要でもあるさつま芋栽培に取り組みました。雨の降る肌寒い日の収穫となりましたが、大きく成長した芋を見て、笑みを浮かべながら作業を行っていました。生物生産科の安田江美香さんは「大変な作業だけど楽しいです」と話しました。